

2024年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年11月10日

上場会社名 アステリア株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3853 URL https://jp.asteria.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平野 洋一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員コーポレート本部長 (氏名) 齊藤 裕久 TEL 03-5718-1655
 四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 2023年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有 機関投資家及び個人投資家向け

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	2,003	17.1	△3,344	—	△3,017	—	△2,345	—	△1,997	—	△1,987	—
2023年3月期第2四半期	1,711	25.0	4,685	443.5	5,198	484.5	3,761	510.1	3,352	499.8	4,802	574.3

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	△118.90	△118.90
2023年3月期第2四半期	199.59	199.59

(注) 1. 基本的及び希薄化後1株当たり四半期利益については、親会社の所有者に帰属する四半期利益の数値を基に算出しております。
 2. IAS第12号「法人所得税」の適用に伴い、2023年3月期第2四半期について遡及適用後の数値を記載しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	7,803	5,598	5,416	69.4
2023年3月期	10,618	7,629	7,134	67.2

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	4.50	4.50
2024年3月期	—	2.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 2024年3月期の期末の配当予想につきましては、現時点では未定としております。

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,500	33.2	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	17,491,265株	2023年3月期	17,491,265株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	695,582株	2023年3月期	695,942株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	16,795,506株	2023年3月期2Q	16,792,694株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

当社は、以下の通りインターネットでの決算説明会を開催する予定です。使用する資料については、当社ウェブサイトに掲載する予定です。また、説明会の模様は、YouTube Liveによりライブ配信するほか、後日当社ウェブサイトでも公開する予定です。

2023年11月10日（金） 18：00～

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書	6
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	7
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報)	12
(重要な後発事象)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

区分	前第2四半期	当第2四半期	増減率
売上収益	1,711百万円	2,003百万円	17.1%
営業利益又は営業損失(△)	4,685百万円	△3,344百万円	—
税引前四半期利益又は税引前四半期損失(△)	5,198百万円	△3,017百万円	—
親会社の所有者に帰属する四半期利益又は親会社の所有者に帰属する四半期損失(△)	3,352百万円	△1,997百万円	—

<売上収益及び利益の状況>

当第2四半期連結累計期間(2023年4月~9月。以下、「当第2四半期」)における当社グループの売上収益は、ソフトウェア事業及びデザイン事業が好調に推移したことにより、前年同期比で17.1%増の2,003百万円となりました。

利益は、企業投資事業において投資先Gorilla Technology Group社の株価下落に伴う未実現評価損失3,803百万円を計上したことにより、営業損失3,344百万円、税引前四半期損失3,017百万円、親会社の所有者に帰属する四半期損失1,997百万円となりました。

《当社の報告セグメント》

当社の報告セグメントは、当社の経営資源の配分の決定及び業績の評価を行うための区分を基礎とし、ソフトウェア事業とデザイン事業で構成される「ソフトウェア事業セグメント」と「投資事業セグメント」の2つを報告セグメントとしています。

《ソフトウェア事業セグメント》

ソフトウェア事業

	前第2四半期	当第2四半期	前年同期比
売上収益	1,373百万円	1,411百万円	102.7%

<売上収益の状況>

データ連携ツール「Warp」は、電子帳簿保存法などへの対応に伴う新たな社内システムの導入などにより、新たなデータ連携ニーズが生まれ、導入社数が10,000社の大台を突破しました。iPaaS関連製品やSMB市場(中小企業)ではパートナー協業による受注拡大が継続し、サブスクリプション型製品は、前年同期比42%の増収となりました。

モバイルアプリ作成ツール「Platio」は、新たな残業規制による「2024年問題」を背景とした物流・建設業、景気回復により小売・サービス業や観光業などからの引き合いが拡大しています。また、人手不足対策や業務効率化に向けた幅広い業界でのDXニーズの高まりを受け、アプリの内製化を実現するノーコードツールとして導入が加速し、前年同期比57%の増収となりました。

ノーコード統合プラットフォーム「Gravio」は、クラウド環境にも対応しあらゆるデータの収集・管理が可能なツールとして機能を大幅に強化した中で、海外を含めた新たな販売チャネルの拡大を進めています。デジタルコンテンツプラットフォーム「Handbook X」は、導入の手軽さや多様なコンテンツへのアクセスのしやすさなどが評価され、新たなマーケット開拓を推し進めています。

デザイン事業

	前第2四半期	当第2四半期	前年同期比
売上収益	337百万円	592百万円	175.6%

<売上収益の状況>

デザイン事業は、英国・米国において、顧客企業のDX戦略の策定・実行支援のほか、カスタマーエクスペリエンス(顧客体験)向上のためのコンサルティングを提供しており、日本での事業も開始しています。

当第2四半期においては、米国大手IT企業をはじめとする主要顧客からの受注が堅調だったことにより、前年同期比で増収となりました。

《投資事業セグメント》

投資事業セグメントは、当社のソフトウェア事業と同じ「4D戦略」(Data, Device, Decentralized, Design)に基づく投資を実施しており、その業績は、国際会計基準に基づき投資先の評価額の増減を計上しています。

	前第2四半期	当第2四半期	前年同期比
評価額の増減(△は減少)	4,534百万円	△3,803百万円	－

主として、AI開発のGorilla Technology Group社(米国NASDAQ上場)の評価額が減少しました。

《当社グループの取組み》

今後、当社グループにおいては、デジタル化は不可逆であると考えており、数年間にわたって大きく成長すると考えられる「D4G」(Data, Device, Decentralized, Design for Green)領域への事業展開及び戦略的投資を継続します。事業領域においては、ソフトウェア製品から培ってきた強みであるノーコード関連領域の取組みを強化しています。ノーコードによるソフトウェア文化の変革を目的として当社も発起企業として参画した「ノーコード推進協会」は、設立から僅か1年で140を超える企業や地方自治体が加盟するコンソーシアムに拡大しました。本年5月には「ノーコード宣言シティー」プログラムを開始し自治体DXの推進に着手するとともに、6月には優れたノーコードの事例を表彰する「日本ノーコード大賞」を創設するなど、ノーコード技術の普及啓発活動を幅広く展開していくことで、企業や社会の生産性向上や人材不足の解消に寄与するDXを推進してまいります。働き方改革では、より高い次元で多様なワークスタイルを実現することを目的にオフィスのあり方を再定義し、社員が自律的に選択するマルチワークプレイスによる新しい働き方を推進しています。本年7月には長野県軽井沢町に新たなオフィスを開設し、より充実した就業環境の整備も進めています。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び資本の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間における資産合計は7,803百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,815百万円減少しました。主な要因は、営業債権及びその他の債権353百万円の増加に対し、その他の金融資産(主に投資有価証券)3,139百万円の減少によるものです。

(負債)

負債合計は、2,206百万円となり、前連結会計年度末に比べ784百万円減少しました。主な要因は、繰延税金負債850百万円の減少によるものです。

(資本)

資本合計は、5,598百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,031百万円減少しました。主な要因は、利益剰余金2,073百万円の減少によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前連結会計年度末より243百万円減少し、1,501百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は30百万円(前年同期142百万円の獲得)となりました。主因はその他の費用3,803百万円(主に投資にかかる未実現損失)の増加に対し、税引前四半期損失3,017百万円の減少、金融収益340百万円の減少、営業債権及びその他の債権353百万円の増加によります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は165百万円(前年同期34百万円の使用)となりました。主因は有形固定資産の取得による支出94百万円、投資の取得による支出64百万円によります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は174百万円(前年同期174百万円の使用)となりました。主因は配当金の支払額75百万円、長期借入金の返済による支出71百万円、リース負債の返済による支出30百万円によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月15日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	1,743,642	1,501,103
営業債権及びその他の債権	182,641	535,435
棚卸資産	4,348	3,811
その他の金融資産	410,012	448,740
その他の流動資産	91,470	103,233
流動資産合計	2,432,114	2,592,323
非流動資産		
有形固定資産	812,927	878,718
無形資産	151,030	214,641
持分法で会計処理されている投資	348,850	403,951
その他の金融資産	6,705,345	3,527,876
繰延税金資産	—	12,758
その他の非流動資産	167,597	172,976
非流動資産合計	8,185,748	5,210,920
資産合計	10,617,862	7,803,243

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	242,800	242,800
営業債務及びその他の債務	281,886	133,695
未払法人所得税等	75,126	212,303
その他の金融負債	53,860	49,624
その他の流動負債	771,037	947,424
流動負債合計	1,424,709	1,585,846
非流動負債		
引当金	9,367	9,380
借入金	357,400	286,000
繰延税金負債	849,507	—
その他の金融負債	343,198	324,066
その他の非流動負債	5,133	239
非流動負債合計	1,564,605	619,684
負債合計	2,989,313	2,205,530
資本		
資本金	2,275,343	2,275,343
資本剰余金	2,481,831	2,513,285
自己株式	△538,012	△538,012
その他の資本の構成要素	692,067	1,015,217
利益剰余金	2,222,293	149,736
親会社の所有者に帰属する持分合計	7,133,522	5,415,569
非支配持分	495,027	182,144
資本合計	7,628,549	5,597,713
負債及び資本合計	10,617,862	7,803,243

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上収益	1,710,618	2,002,790
売上原価	299,620	321,148
売上総利益	1,410,998	1,681,641
販売費及び一般管理費	1,266,980	1,226,851
その他の収益	4,541,340	3,685
その他の費用	64	3,802,813
営業利益 (△は損失)	4,685,294	△3,344,338
金融収益	564,140	340,222
金融費用	52,907	8,007
持分法による投資損益 (△は損失)	1,649	△5,217
税引前四半期利益 (△は損失)	5,198,175	△3,017,339
法人所得税費用	1,437,203	△672,317
四半期利益 (△は損失)	3,760,972	△2,345,023
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	3,351,737	△1,996,924
非支配持分	409,235	△348,099
四半期利益 (△は損失)	3,760,972	△2,345,023
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (△は損失) (円)	199.59	△118.90
希薄化後1株当たり四半期利益 (△は損失) (円)	199.59	△118.90

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期利益 (△は損失)	3,760,972	△2,345,023
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融 資産	195,378	136,798
純損益に振り替えられることのない項目合計	195,378	136,798
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	846,073	221,568
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	846,073	221,568
その他の包括利益合計	1,041,451	358,365
四半期包括利益	4,802,423	△1,986,657
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	4,259,963	△1,673,774
非支配持分	542,461	△312,883
四半期包括利益	4,802,423	△1,986,657

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
				在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	合計
	千円	千円	千円	千円	千円	千円
2022年4月1日時点の残高	2,275,343	2,457,037	△538,012	414,921	△155,986	258,934
会計方針の変更による累積的影響額	—	—	—	△452	—	△452
会計方針の変更を反映した当期首残高	2,275,343	2,457,037	△538,012	414,468	△155,986	258,482
四半期利益(△は損失)	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	712,848	195,378	908,226
四半期包括利益合計	—	—	—	712,848	195,378	908,226
配当金	—	—	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	1,959	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	25,113	25,113
その他	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	1,959	—	—	25,113	25,113
2022年9月30日時点の残高	2,275,343	2,458,996	△538,012	1,127,316	64,504	1,191,820

	親会社の所有者に帰属する持分			
	利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計
	千円	千円	千円	千円
2022年4月1日時点の残高	3,903,237	8,356,539	624,823	8,981,362
会計方針の変更による累積的影響額	△9,141	△9,594	—	△9,594
会計方針の変更を反映した当期首残高	3,894,096	8,346,946	624,823	8,971,768
四半期利益(△は損失)	3,351,737	3,351,737	409,235	3,760,972
その他の包括利益	—	908,226	133,226	1,041,451
四半期包括利益合計	3,351,737	4,259,963	542,461	4,802,423
配当金	△75,633	△75,633	—	△75,633
株式に基づく報酬取引	—	1,959	—	1,959
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	△25,113	—	—	—
その他	—	—	—	—
所有者との取引額合計	△100,746	△73,675	—	△73,675
2022年9月30日時点の残高	7,145,087	12,533,234	1,167,283	13,700,517

親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素					
	資本金	資本剰余金	自己株式	在外営業 活動体の 換算差額	その他の 包括利益を 通じて公正 価値で測定 する金融資産	合計
2023年4月1日時点の残高	2,275,343	2,481,831	△538,012	716,770	△24,703	692,067
四半期利益(△は損失)	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	186,352	136,798	323,150
四半期包括利益合計	—	—	—	186,352	136,798	323,150
配当金	—	—	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	31,454	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金 への振替	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	31,454	—	—	—	—
2023年9月30日時点の残高	2,275,343	2,513,285	△538,012	903,122	112,095	1,015,217

親会社の所有者に帰属する
持分

	利益剰余金		非支配持分	資本合計
	合計	合計		
	千円	千円	千円	千円
2023年4月1日時点の残高	2,222,293	7,133,522	495,027	7,628,549
四半期利益(△は損失)	△1,996,924	△1,996,924	△348,099	△2,345,023
その他の包括利益	—	323,150	35,216	358,365
四半期包括利益合計	△1,996,924	△1,673,774	△312,883	△1,986,657
配当金	△75,633	△75,633	—	△75,633
株式に基づく報酬取引	—	31,454	—	31,454
その他の資本の構成要素から利益剰余金 への振替	—	—	—	—
その他	—	—	—	—
所有者との取引額合計	△75,633	△44,179	—	△44,179
2023年9月30日時点の残高	149,736	5,415,569	182,144	5,597,713

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益 (△は損失)	5,198,175	△3,017,339
減価償却費及び償却費	64,215	89,720
金融収益	△564,140	△340,222
金融費用	52,907	8,007
持分法による投資損益 (△は益)	△1,649	5,217
その他の収益	△4,541,340	△3,685
その他の費用	64	3,802,813
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△48,057	△352,795
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△307,641	△148,400
その他	187,560	26,918
小計	40,096	70,233
利息及び配当金の受取額	39,920	2,115
利息の支払額	△3,611	△2,725
法人所得税の支払額	65,256	△40,016
営業活動によるキャッシュ・フロー	141,662	29,606
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△310,948	△93,696
有形固定資産の売却による収入	—	310
無形資産の取得による支出	△218	△284
貸付金の回収による収入	431,590	—
投資の取得による支出	△147,933	△64,050
その他	△6,555	△6,822
投資活動によるキャッシュ・フロー	△34,065	△164,542
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△71,400	△71,400
リース負債の返済による支出	△26,844	△30,347
配当金の支払額	△75,453	△75,155
非支配持分からの払込による収入	—	2,670
財務活動によるキャッシュ・フロー	△173,697	△174,232
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△66,101	△309,168
現金及び現金同等物の期首残高	1,816,106	1,743,642
現金及び現金同等物の為替変動による影響	24,364	66,630
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,774,369	1,501,103

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下の項目を除き、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

なお、当第2四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積年次実効税率を基に算定しております。

当社グループは、当第1四半期連結会計期間より、以下の基準を適用しております。

IFRS		新設・改訂の概要
IAS第12号	法人所得税 (2021年5月改訂)	リース及び廃棄義務に係る繰延税金の会計処理を明確化

当社グループは、IAS第12号「法人所得税」(2021年5月改訂)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

本改訂により、リース及び廃棄義務のように、取引時に同額の将来加算一時差異と将来減算一時差異が生じる場合、企業はそれにより生じる繰延税金負債及び繰延税金資産を認識することが明確になりました。

本改訂は遡及適用され、前年同四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の要約四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前連結会計年度の連結財政状態計算書は、繰延税金負債が178千円増加し、利益剰余金が462千円増加し、為替換算調整勘定が639千円減少しております。また、当第2四半期連結会計期間の要約四半期連結財政状態計算書は、繰延税金資産が1,904千円減少し、利益剰余金が1,210千円減少し、為替換算調整勘定が3,114千円増加しております。前第2四半期連結累計期間の要約四半期連結損益計算書は、法人所得税費用が2,562千円減少し、四半期利益が2,562千円増加しております。

前第2四半期連結累計期間の基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益はそれぞれ、0.15円及び0.15円増加しております。当第2四半期連結累計期間の基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益はそれぞれ、0.07円及び0.07円減少しております。

前第2四半期連結累計期間の期首の資本に累積的影響額が反映されたことにより、要約四半期連結持分変動計算書の利益剰余金の遡及適用後の期首残高は9,141千円減少しております。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当企業集団の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「ソフトウェア事業」及び「投資事業」の2つを報告セグメントとし、2つの事業を基礎として組織が構成されています。

(2) 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失、及び資産の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

	報告セグメント			調整額 (注1)	連結
	ソフトウェア事業	投資事業	計		
	千円	千円	千円	千円	千円
売上収益					
外部収益	1,710,618	—	1,710,618	—	1,710,618
セグメント間収益	80	16,081	16,161	△16,161	—
合計	1,710,699	16,081	1,726,779	△16,161	1,710,618
セグメント利益(△は損失) (注2)	158,913	4,519,713	4,678,626	△470	4,678,156
その他の収益及び費用					7,138
金融収益					564,140
金融費用					52,907
持分法による投資損益(△は損失)					1,649
税引前四半期利益(△は損失)					5,198,175
その他の項目					
減価償却費及び償却費	64,003	212	64,215	—	64,215

(注) 1. 「調整額」は、主としてセグメント間取引消去額を表示しております。

2. セグメント利益は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しておりますが、その他の収益及び費用のうち、Asteria Vision Fund I, L.P. で保有する純損益を通じて公正価値で測定する金融資産に関する評価損益は投資事業のセグメント利益に振り替えております。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

	報告セグメント			調整額 (注1)	連結
	ソフトウェア事業	投資事業	計		
	千円	千円	千円		
売上収益					
外部収益	2,002,790	—	2,002,790	—	2,002,790
セグメント間収益	—	—	—	—	—
合計	2,002,790	—	2,002,790	—	2,002,790
セグメント利益(△は損失) (注2)	486,604	△3,834,536	△3,347,932	—	△3,347,932
その他の収益及び費用					3,594
金融収益					340,222
金融費用					8,007
持分法による投資損益(△は損失)					△5,217
税引前四半期利益(△は損失)					△3,017,339
その他の項目					
減価償却費及び償却費	89,613	107	89,720	—	89,720

(注) 1. 「調整額」は、主としてセグメント間取引消去額を表示しております。

2. セグメント利益は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しておりますが、その他の収益及び費用のうち、Asteria Vision Fund I, L.P. で保有する純損益を通じて公正価値で測定する金融資産に関する評価損益は投資事業のセグメント利益に振り替えております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。